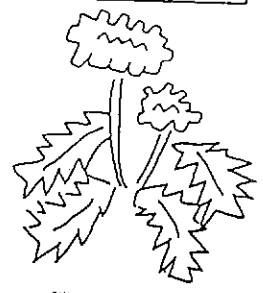


NO 178
 H 14 年 4 月 1 日
 - 発 行 -
 〒869-1217
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



平成十四年度における業務指針
 施設長 松田 健

いよいよ支援費制度まであと1年と迫りました。まだ、内容の不明確な点が多く、不安を助長するような材料ばかりです。介護保険スタート時のように直前まで二転三転するのもかもしれません。いざ始まると、予想より楽であったということも同じであるかもしれません。ただ大きく変わる点があることだけは肝に銘じなければいけません。企業での「理が入り込む」とは、福祉の後退もあり、喜ぶべきことではないことはわかっています。しかし、現実を直視し、唯々諸々としてであれ、受け入れることが必要です。プラスの側面も多数介在します。常に庇護され、国の基準の給料より下回ってはいけないということは、一見先進的なことですが、頑張っている施設のその頑張りが、画一化されてしまっています。軽い子しか受け入れないと公

言している施設も珍しくありませんでした。待機者が欠員の生じた施設の面接に行くのですが、施設側は自分たちに都合のいい人だけをいれようと選別していました。待機順位制となりこの問題はほぼ解決しましたが、全施設の現入所者のほとんどは待機順位制以前に入所された方々です。逆に、三気の里は、他の施設でみれない人、在宅での処遇が困難なため緊急入所の形で措置された方々、この施設でも受け入れてくれなかった人等がどんどん増えていき、県下でも類を見ないような重度者の施設となりました。前者と後者を同じ基準で図れるはずがありません。買い物訓練以外にも外出訓練(レクレーション)として全員を毎月1回行っている施設も他にはあまりありません。しかし、評価は同一でありました。何もしない方がお金が溜まるというというシステムでした。これでは福祉の世界がおかしく

なるのが当然です。職員に關しても精力的な職員と無気力な職員が同一評価でいいのか、平等といえるのか、という問題があります。今他の施設では、独自の俸給表を作ることや人事考課を行うことを最大の関心事としています。もう手を上げて賛成はしません。職員の能力格差を埋めるためには仕方がないのかもしれませんが、施設に降りてくるお金に對しての意識も湯水のように沸き起るとの錯覚を持ち、使わないと損するといような感覚さえありました。税金であることを忘れないようにしたいです。公務員の世界では財政困難の状況が続き、給与の一部カットや経費節減など危機意識を高めています。失礼な言い方ですが、公務員の世界より福祉の世界は遅れています。考えてみると、財政難に陥った業種は、すべてサービスが良くなっています。そうしないと生き残れないか

らではないでしょうか。先生(呼び合うことは禁止していませんが)と呼ばれ、傲慢になっていませんか。身だしなみや言葉遣いはどうでしょうか。企業においては新人教育に力を入れます。挨拶の仕方から教育します。福祉の世界の間はどこか嘲笑していませんかでしょうか。別世界の出来事として捉えていなかったでしょうか。猛省すべきです。石井哲夫さんが「今は、指導しないといけない人が指導員になっている。」と言われたことが耳をはなれません。遅刻する人が利用者「時間を守りなさい。」と言ったり、欠勤が多く迷惑をかけている人が利用者人間としての道を説いていたならどうでしょうか。厳しいことが山積していますが、現在の三気の里の職員集団であれば必ず乗り切れると確信しています。利用者のため、保護者のため、地域住民のため、職員のため頑張ります。 (後半部分省略)



1 班・チャレンジ・ザ 2002

今年度も早いもので3月を残すのみとなりました。今月に入り体調を崩す利用者が多く集団生活をしていると病気の感染が一番心配ですが、我が一班の売りは、体力と健康です。一人の体調不良者を出すこともなく 元気に毎日過ごしています。一年を通して全員大きな病気をすることもなく過ごすことができました。いろんなことに挑戦した今年度、六月の宿レクで飛行機、三月のレクでクルーザーを体験、これで陸、海、空、を制覇したことになりました。来年は宇宙にでも…?とんでもない発想が頭に浮かんでしまいます。

もう一つの体験、それは、作業の一環として取り組んだボランティアワーク、大津の森運動公園のごみ拾い、トイレ掃除を行ってきました。少しでも地域の為に役立ちたいというみんなの思いから始まったことですが、一人一人が自分の持ち場を意欲的に頑張ってくれました。先方の方にお礼を言われ照れ臭そうにしている姿を見ているとやってきて本当に良かったと思いました。今年度も内容のある一年でしたが、来年度もやります。もっと凄いことを、期待してください。 阿南

4 班・一年を振り返って…

早いもので今年度ももう終わろうとしています。今年度は“収入アップ!”を目標に、一年間通してみんなで意識してがんばろうと話してきました。その結果は…今年度の収入は昨年より2倍になっていました。途中までは昨年と変わらないペースだったのですが、今年は収穫の秋に大きくアップし、人参、ホウレン草、じゃがいも、しいたけといった色とりどりの野菜を玄関先に並べることができ、みんなで声をそろえて「八百屋さんみたいだねえ!」と収穫を喜ぶことができました。しかし、良い事ばかりではなく反省点もたくさんありました。もう一つの目標であった販売先の開拓はとうとうできず来年度の課題となってしまいました。それと来年度はもう一つ大きな目標があります。それは皆の就労先の開拓です。農耕班の皆は馬力のある人ばかりで今の三気の里の畑だけでは物足らなさを感じます。来年度はどこか近くの農家の方の所にもお手伝いに行けないかなぁと考えています。もし是非お手伝いをとお考えの方がおられましたら、三気の里までご連絡下さい!

来年度も今年度以上の収入率アップを目指してみんなで力を合わせて頑張っていきたいと思っています。今後とも農耕班の野菜をよろしく願います! 石井

3 班・『心機一転』

寒い日々が続いていましたが、やっと梅が咲き桜も開花しつつ、暖かくなってきました。日中、園では中庭や窓辺で気持ち良さそうに昼寝をしている利用者の方が増えています。しかし、寝てばかりではもったいないので散歩をしたり、ボールで遊んだりと楽しく余暇を過ごしています。

春といえば世間では、入学式や入社式など新しい人生を歩む人達がいて、胸に不安を抱えながらも希望や夢を抱き、第一歩を踏み出して行きます。3班では、4月の新年度に向け、まず作業棟内の掃除と模様替えを行っています。作業場と休憩の場所を入れ替えました。土間にコンクリートを打ち、大きい机を置いて木工品のサンドペーパーがけやノコギリ切りが出来るようにし、隣では色塗りやニス塗り、製品の袋詰め、教材などが出来るようにしました。模様替えのときは、職員と利用者の方皆で力を合わせ掃除をし、机や棚などを運びました。皆、『何があるんだろう?』『どうなるの?』と不安そうにしながらも新3班作業棟を作り上げました。これから、新たな製品作りやいろんな場所(お店、喫茶店など)で販売したり、様々な仕事を請け負って収入を頂き、個人の給料になるように取り組んでいきたいです。 両角



5班・新ノ温室

パンジー、ビオラ、撫子。次々と園芸班の花も咲き始め、園芸班のメンバーも春の雰囲気を楽しんでいるのではないのでしょうか。そんな春の明るさを忍ばせている園芸班でしたが、そんな中ひととき、暗い存在だったのが、園芸班の作業の中心になる温室です。温室も老朽化が進み、温室の窓も所々抜けており、そして天窗も所々無いため雨が降った時などは、すごい雨漏りをしていました。しかしそんな温室でしたが、皆の力を合わせて修理することになり、2月の中旬から修理を開始しました。介助員の砂野さんのお力添えもあり着々と修理進み、間もなく完成というところです。たんぼぼをお読みになられた方もお時間があれば、園芸班の新しい温室を見にいらしてください、きっと園芸班の畑の花ばなど、生まれ変わり晴天のようなブルーの屋根をした温室が、皆さんに春の雰囲気を楽しませてくれることでしょう。

山下

6班・元気班の元気回復！

今年は桜が早く咲き、春が駆け足でやってきたようです。平成13年度も終わりに近づき、「今年も1年お疲れさまでした」の意味を込めて3月14日に慰労会を催しました。普段は健康に配慮して控え目な食事になっている人の多い6班ですが…みんな1年間がんばったんですもの…この日ばかりはおいしいものをたくさん食べようと彩炉で焼肉食べ放題コース！ロース、カルビ、塩タン、ビビンバ、クッパ、テーブルに所狭しと並んだ料理に思わずにんまりのみんなです。食べごろに焼けたお肉をゆっくりと味わう正利さん、幸男さん、美智子さんチーム。皿に盛られるお肉をこつこつと食べる行夫さん、ゆかりさんチーム。焼き網の上のにせたお肉が次から次からなくなっていく宏幸さん、民さん、美緒さんチーム。お腹いっぱい食べて、一年間の疲れも吹っ飛んだようです。6班は健康第一、焼肉パワーでこれからもモリモリがんばるぞー！

大賀

2班・一年を振り返って！

桜の花が咲き始め、春の訪れと共に今年度ももう終わりかと思う今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて今年一年を振り返ってみますと、久しぶりに保護者の方と一緒に過ごした宿泊レクリエーションでは、わがままなど言わず落ち着いて活動していた利用者の姿は、保護者の方、職員からも「成長したね」という声がたくさん出ていました。初日の夜のカラオケ大会、3日目のスペースワールドで乗ったジェットコースター等、たくさんの思い出を作ることが出来ました。来年も是非一緒に行きましょう。また作業面では、今まで職員がやっていた事（ネットをカゴに入れる、ゴムを外すことなど）をみんなが一人でできるようになってきました。その為、作業効率が良くなる共に職員が指導の時間をより確保出来るようになりました。一年の成果です。来年度は、もっと一人でできることを増やせていけたらと思っています。今年度もあと少しで終わりですが、色んなことがありましたが、収穫ある一年だったと思います。来年度は、さらに色んなことにチャレンジしていきたいと思っています。

楳本

療育雑誌記

通所部の経験

木下 昭二

ちょうど一年ほど前、施設長より通所部の方をお願い出来ないかとの依頼があり、私自身躊躇する理由は無かったので快諾することとした。逆に私の中ではワクワクとした気分でのスタートだった。

通所部は4年前に開設し、多少の入れ替わりはあったもののこれまで満所になることは無く、平成13年度スタート時は3月～5月にかけて5名の方が新しく措置決定され、初めて満所状態でのスタートを切ることが決まっていた。

入所施設三気の里のスタート時ほどではないにしても、初心に戻ったような気持ちの中で、あの緊張感を味わえ、どう関わっていいかわ、まずはどういった行動にターゲットを絞って取り組んでいくか？あの手で行くか！いやこの手で行くかなど、ほとんど三気の里方式での取り組みの中では手付かず状態の利用者の人達を、どう料理（療育）していくかは自分自身の手にかかっていると見え、その方

針を考えるとときの楽しさを（時には苦しい場合もあるが…）一からやるのが出来、またその方針がうまくかみ合い、利用者の方の情緒が安定したり、落ち着きが見られるようになったり、結果としてパニックが減少していく状況・変化・成長を目の当たりに感じる事が出来るからである。

新人職員との話しの中で、「利用者Aさんは入所当時は〇〇××な状態でかなりの大物だった！」と言った内容の会話をするとき、新人職員の反応は「今では想像がつかせんね」や「その当時にAさんに出会ってここまでの変化の過程を見てみたかった」といった反応が返って来るのが大半である。当然、新人職員にとっては関わり始めた現状のAさんの状態が「全て」で、「以前の状態」は話としてでは伝えて行くことが出来ても、本人の実感としてはなかなか理解出来ないのが現状であると思われる。冒頭の施設長からの話しがあつた時に、私自身にはとてもおもしろい（よい経験の出来る）話してはあったが、それを私が独り占めしているのか、中堅職員や新人職

員に経験させないでよいのかといった話しをしたのは記憶に残っている。

かといって通所部での一年が全てうまくいったかという、必ずしもそうとは言えず、むしろうまくいかなかった方が多いのかもしれない。やるうと思っただけ出来なかったこともいくつもあつた。動作法もその一つで作業指導の時間帯に個別での指導が出来るだろうと思っただけ見込んでいたのだが、実際にはパニックの対応としての「寝かせ」やその場面での「腕上げコントロール」程度しか出来なかった。生産活動（給与支給の出来るような）作業の導入もかなり遅れてしまい、つい先日に

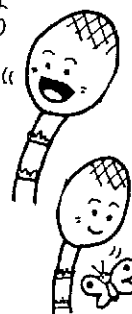
なつて開始することが出来ている。本人達の取り組んでいるイキイキとした姿を見ると、もっと早くから検討し導入すべきであつたと反省する事、頼りである。ご迷惑をおかけしたのは年度途中での担当変更、職員変更と相次いだことである。人対人の仕事であることを一人一人が再認識し次年度には反省を生かせるようにしていきたい。

毎日保護者と顔を合わせることに

でその反応の早さと共に、こちらでも何とかしなければと考える姿勢、通所部にいる間に状態が良くも、帰宅して悪ければ答えは×になること、もう一押ししたいときから始めないといけないときのジレンマ等々挙げればきりが無いが、この一年の経験は私の中で貴重なものとなつた。年度末にもう一度この経験を整理して考え、次年度に生かせるようにしておきたい。

事務だより

「今年、犬の散歩の途中で、たんぼぼや、桜の蕾みを早く見つけて、花見が早く出来そうだなあと思いました。」



つい先日、私を我が子のようにかわいがって下さった方が亡くなられました。お通夜、お葬式を通して命の尊さをかみしめています。四月から事務室は、新メンバーを迎えて生まれ変わります。新しい方のエネルギーを吸収して明るく元気に頑張ります。ぜひお立ち寄り下さい。

橋口

食堂営業中

先日、栄養士会の研修に参加しました。最近、牛肉に関心が高まっていることもあり、『食肉の取り扱いについて』講演がありました。講演の中で、ラベル偽造の事件を取り上げられましたが、それを防ぐのは現状の流通システムでは、とても難しいということでした。しかし、事件が起きたことにより流通システムへの関心が高まり、食肉業者側でも「ラベル偽造が出来ないシステムを考える」・「食肉の名称を細かく統一する」など対策が練られている途中だそうです。この様に現在の食肉流通システムでは、偽造食肉を施設へ納入されたとしても正か偽かを判断するのは、難しい事です。そのため、業者との信頼を密にすることや、出荷証明を取るというアドバイスをいただきました。今後は、このアドバイスを参考に、安全でおいしい食材を提供していきたいと思っています。



渡邊

地域交流支援
 巷では、桜が咲き始め、あともう少して満開という所です。春がもうそこまでやって来ているようです。さて去る3月17日(日)室小学校運動場にて室地区スポーツ大会(レクリエーションゴルフ、※グランドゴルフをアレンジした)が開催されました。三気の里から利用者8名(選手5名、応援3名)が参加しましたが、色んな方々から「がんばれ」、「そこは、ゆっくり打ちなっせ」など暖かい言葉やアドバイスをいただき、利用者全員一日でかなり上達したようです。みんな成績より色んな方々と話したり、試合が出来たことがうれしかったとのことでした。来年はもっとうまくなって参加します。是非ぜひ招待ください。当日お世話いただいた室地区の皆様ありがとうございました。

さて今年度一年を振り返りますとたくさんの方々と交流を持つことができ、楽しく意義あるものでした。来年度は、出会いを大



切にさらに親交を深めることができようと思っています。どうぞ三気の里を来年度もよろしく願っています。



植本

退職にあたって

井手美有紀

利用者・保護者・職員の前で「宜しく願います。頑張りましょう。」と言ったのは3年前。いつしか利用者を思う気持ちが想いになり、会いたい気持ちがいっぱいになり…。利用者の存在の大きさに今、原稿を書きながら驚いています。くやしくて一緒に泣いて、嬉しくて一緒に笑って、何をするにも共に生活してきたんだと実感し、又楽しい生活であった事に改めて気づいています。今までもお世話になった方々へ…本当にありがとうございました。



三気の里メールアドレス紹介

三気の里についてのご意見、要望その他何でも結構ですのでぜひメールをお送り下さい。

皆様の声をお待ちしております。

E-mail:

sanki@siren.ocn.ne.jp

後援会募金の案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。

振振り込み先

口座番号

0197018114902

社会福祉法人 三気の会后援会

保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森54-12

一口 3千円

団体は、一万円より

後援会ありがとう

北島 和子・牛島 敏章
 坂口 正浩・福田 智子

※敬称略

音楽交流会

三月一日、音楽交流会当日。

「今日が本番よ！」と、何度も繰り返すが、依然としてベルに集中出来ず、とうとう叱られた。

「頑張っつてよ、音が出なかったら困るんだからねっ。」本番三十分前となり、緊張と焦りの為語気が荒くなる。

指揮は無しで、自分の耳で聞いてベルの音を奏するという試みは今回が初めてだった。いつもなら文句の一つでも言い返す人だったが、こちらの余りの見事に声も出ない様子だった。

そして、ついに本番。発表では無く、合同演奏という形式だったが、皆の緊張は凄かった。又、一音も逃すまいという気迫に満ちていた。特にSさんの意気込みは素晴らしく、日頃、演奏中でも跳びはねたり、歌をうたったりして落ち着きの無い人だったが、目は半眼で身体は少々前かがみになり、待っているあいだはピクリとも動かず、ただベルの音だけに集中していた。

「偉かったね。凄かった！」
《赤トンボ》の演奏が終わる。涙

が出そうだった。小さな演奏会だったが、大きな一歩を歩み出した気がした。

今回、三十三名の小学生の皆さんと暖かな交流会を持つことが出来た。合奏の素晴らしさも充分に味わえた。皆さん、音楽クラブ一人一人に励ましの言葉と、プレゼントを有り難う。又来年お会いしましょう。

坂本



新人職員紹介

はじめまして。1月下旬より非常勤として勤務しております中尾ゆかりです。

今まで老人介護の仕事を5年程していましたが、介護福祉士の資格をとったのを期に色々な福祉の仕事をしてみたいと思い、三気の里にお世話になったわけでゼロからのスタートです。向上心をもって頑張ります。

ご指導の程、よろしくお願います。



舞のん気・こん気・げん気コーナー

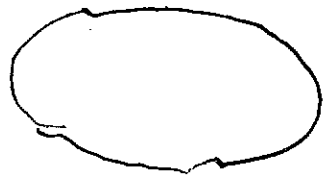
桜の花も咲き始め、すっかり春になってきましたね！皆様春を感じていますか？

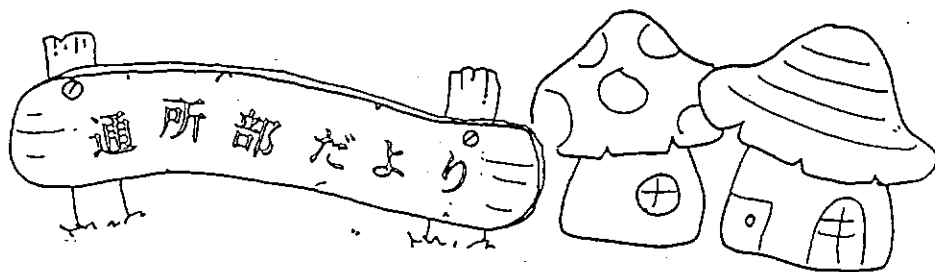
最近天気の良い日が続いていますねえ。そんな天気には真っ白の雲がきれいですよねえ！そんな雲を書いてくれたのは、宏幸さん。今一人で外出する訓練をしており、近くのお店まで買い物に定期的に出掛けています。毎回とても嬉しそうに外出する宏幸さん、これからも気をつけていってらっしゃい！園で帰りを待ってるよ

くも

宏幸

くも くも





4月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
1	2	3	4	5	6 ◎ 休み	7 ◎ 休み	
8	9	10	11	12	13 ◎ 保護者会 春野さんの誕生日(18)	14 ◎ 休み	
15 ◎ 休み	16	17	18 ◎ レク	19	20 ◎ 休み	21 ◎ 休み	
22	23	24	25	26	27 ◎ 休み	28 ◎ 休み	
29 ◎ 休み	30	◎ 休み 6日、7日、14日、15日、20日、21日、27日、28日、29日 ◎ 保護者会 13日 ◎ 春野さんお誕生日おめでとう! 13日 ◎ レク 18日					

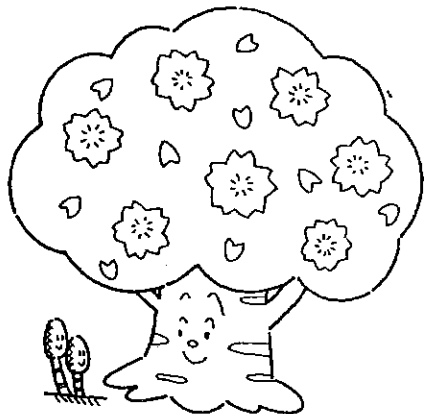
通所部通信

桜の花も満開に咲きほこり、通所部通りの桜もちらほら咲き始め、花見の季節ですね。お酒大好きな私にはたまらない季節です！
去る2月20日、私にとっては初めての通所部レクリエーションに同行させていただきました。朝から嬉しくて、いつもより早く目が覚めてしまったのは「私だけ」でしょうか？

まずは通所部の大先輩の坂田さん、一本松公園での草すべりに大ハッスル！赤星さんは意外に草すべりが気に入り、何度も段ボールに乗せてもらってすべり「じょうず」と自分で言いながら私の手を取り、頭をなでてと催促！高森さんは前の日から「草スキー」と楽しみにしていた割には思ったよりスリルが味わえなかったのか、2・3度すべると飽きた感じ！田口さんが1番草すべりを楽しんでいて、高いタワーに登って鹿本の町を眺めている気分！園田さんは体重も加勢して、草すべりのスピード狂！そして春野さんは草すべ

り1回目はみごと着地失敗でこけてしまいました。が、めげずに何度もすべって喜びの笑顔！そして「あれっ千田さんは？」と思いきや、恐くて遠くからチラッチラッ。意地悪な木下さんに捕まり、半ば強制で段ボール乗せられ「アレー！」と2回はすべることができました。その後のイチゴ狩りでも旬の味覚をたらふく食し、おみやげまでいたただき大満足の9名でした。

初めてのレク参加で通所部では見れない7名の意外な隠れた一面が見れて、勉強になった中尾でした。
中尾



4月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
1 就任式	2	3	4 清田さんの誕生日(29)	5 国本さんの誕生日(31)	6	7	
8	9 1班レク	10	11 2班レク 中嶋さんの誕生日(34)	12	13 保護者会	14	
15 ブラッシング指導	16 3班レク	17	18 誕生会 4班レク	19 森さんの誕生日(28)	20	21	
22	23	24 5班レク	25 6班レク	26	27 帰宅バス	28	
29 みどりの日	30	清田さん、国本さん、中嶋さん、森さんお誕生日おめでとう！ 1日 就任式 13日 保護者会 15日 前嶋さんブラッシング指導 18日 誕生会 27日 帰宅バス 29日 みどりの日 27日～5月6日 春季帰宅週間					



ボランティア通信

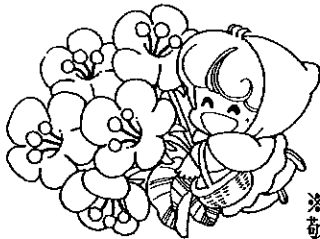
この一年、三気の里には、多くの方々がボランティアに来て下さいました。開園祭などの行事、作業やクラブに利用者の皆と一緒に参加して頂いたり、無償で散髪をして頂いたり、ブラッシング指導をして頂いたり、生け花で園内を華やかにして頂いたり…皆様に支えられてきました。職員一同、心より感謝申し上げます。

4月より新年度となります。今まで同様、いつでも遊びに来て下さい。皆で楽しみに待っています。

(ボランティアありがとう)

- ☆生け花 西村 栄子
- ☆ブラッシング指導 前淵 隆子
- ☆ピアノ演奏 井川 マリ子

※敬称略



〔3月出張・研修報告〕

- ・2月28日～3月1日 カウンセリング研修 石丸
- ・3月2日 第3回自閉症療育研修会(福岡) 江藤・平山
- ・3月4～8日 施設見学 田之上・砂野

編集後記

この編集を最後に卒業するメンバーが今年度も二名います…。一人はM指導員！今年度よりこのたんぼ編集のメンバーとなり一年間頑張ってくれました。しかし、編集長の私としては、よやくたんぼの最終ページの月間行事予定表を作成出来るようになってくれたところで将来の編集長候補だっただけにとても残念です。そしてもう一人は二年目の日指導員。ワープロが得意で編集員の“華”(自称…)でもあっただけにとても寂しい気持ちでいっぱいです…。来月からはまた新メンバーで頑張ります！

石井

